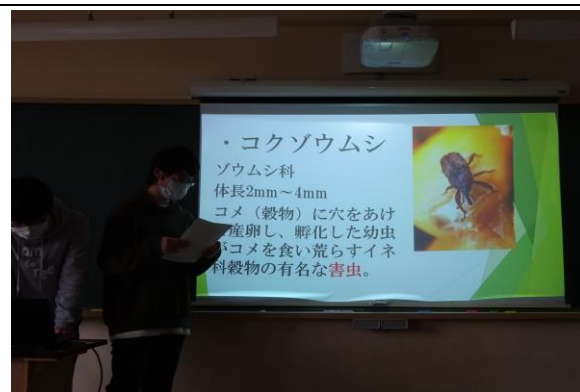


令和2年度 長岡高校スーパーサイエンスハイスクール

名 称	SSR I 「課題研究基礎」発表会 SSRA「課題研究 A」中間発表会
期 日	令和3年3月16日(火) 午前 9:50~12:40 (普通科) 午後 13:25~15:15 (理数科)
会 場	本校1年生各教室・PC教室
対 象	1年生全員(普通科・理数科)
目 的	<ul style="list-style-type: none"> “仮説を立てて、実験を行い、レポートにまとめ、発表する”という科学研究のプロセスを体験する。 理数科は、来年度の課題研究に向けて研究の方向性や、今後の展望について発表する。
内 容	<p>○普通科は9月から物理・化学・生物・地学・数学の各分野に分かれ行ってきた課題研究の成果をまとめ、各班による発表を行った。9月から、オリエンテーション1時間および2時間続きの授業を6回実施。今回はその内容をまとめ、各クラス12班の発表を行った。</p> <p>○理数科サイエンスコースは1学年理数科教室の2会場に分かれ、各班の調べた内容とこれからの研究方針を発表した。メディカルコースはPC教室にて、研究の中間発表を行った。いずれのコースも活発な質疑応答が行われた。</p>



発表の様子

<各科目の課題研究の例>

普通科	グラスハープと内容物の関係	振動反応	味と温度の関係
	液状化現象を研究しよう	ウィルスの検査の精度について	
理数科	雨による小水力発電	コメとワラでプラスチック代替素材の開発	
	大きな鯉を育てよう	佐渡島が新潟の降雪量に与える影響	
	多面体について		

アンケート 評価	<p>発表会の後、17 の項目について自己評価を行った。その中で自分に最もよくあてはまると答えたのは、</p> <ul style="list-style-type: none">①「他のメンバーと協力できた」②「自主的・意欲的に取り組んだ」③「教科書にはない実験・研究をしようとする意識がもてた」 <p>の順だった。</p> <p>また、自分にどのような力がついたと思うか、の問いには上から、</p> <ul style="list-style-type: none">①「チームワークを活用する力」②「課題を見つける力」③「パソコン等情報機器を活用する能力」 <p>となった。</p> <p>科学に対する興味・感心はこの授業の前と比べてどう変わりましたか？の問いには、77.7%の生徒が「上がった」と答えた。</p>
-------------	--